

かわらばん 第1号

「しっかりした計画と実行で 合格を確実に！」

日本関税協会の通関士養成通信教育講座をご受講いただき、ありがとうございます。これから10月までの6ヶ月を実効性のある計画と学習の実践により、必ず合格証を得られるよう頑張りましょう！私どもスタッフも、さらに工夫をして、皆さんが合格に必要な知識を得られるよう、精一杯サポートしていきたくて決意を新たにしています。

勝負は「いかに通関実務の合格基準を突破する知識」を習得するか

まず、通関士試験の合格率を見てみましょう。令和2年（第54回）の合格率は16.9%、元年13.7%、平成30年14.6%、29年21.3%、28年9.8%で、**過去5年間の平均は15.3%**です。つまり10人受験して1～2人くらいしか受からない試験です。ここ数年は合格率にかなりの変動があり、合格率の高い年と低い年の差が大きくなっていますが、合格率の高低に惑わされることなく日々の学習に取り組んでいきましょう！

通関士試験合格を困難にしている要因として、学習すべき対象範囲が大変広く、また、くまなく勉強するには時間がとても足りないことが挙げられます。試験の対象となっている法律は、通関業法、関税法、関税定率法、関税暫定措置法、電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律（NACCS法）、外国為替及び外国貿易法等です。さらに法律のほかに、関係する政令、省令、告示はもとより、膨大な通達も対象となっています。

6ヵ月でこの難題を克服しなければなりません、やみくもに勉強しても合格できません。限られた時間で効率的に学習するためには、当協会の指導に沿ってテキストやWEB講義により重要度の高い分野の要点をしっかりと押さえ、暗記すべき事項は計画的に暗記し、問題集を解き、解けなかった問題について必要な知識を習得する必要があります。

とりわけ、勝負の鍵はいかに「通関実務の合格基準を突破する知識」を習得するかです。

この「かわらばん」も精一杯の応援をしていきます。皆さんの日々の努力が続けられれば、必ずや合格の栄冠を獲得できると信じています。

かわらばんの内容としては、通関士試験受験情報、学習計画、その効率的実行法、法令改正情報、実務対策、記憶法等受験技法、特筆すべき質問・回答、受講者の声等・・・を掲載し貢献していきます。随時ホームページの「受講生専用サイト」にアップの予定です。最初の方は、初めて挑戦しようとする受講生が合格するための学習計画メニューの例を挙げていきます。皆さんの知識、環境に合わせて、自分なりの計画を立てて実行してください。



さあ!! 計画と実行だ!

(1) 心構え 5つの大切

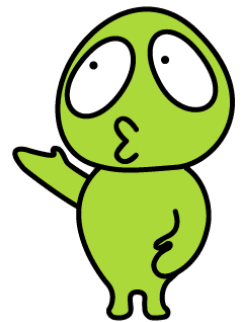
今年必ず合格するために

日本関税協会では、皆様が合格できるように精一杯のサポートを続けてまいります。目的を達成できるよう、これから一緒に6ヶ月間を頑張りましょう。

計画を実行すること

次の5つの点に常に留意しましょう。

- ① 自分の合格した後の姿をきっちり描けること（‘できれば合格したい’程度の気持ちでは合格しない。）
- ② 予定の進行に遅れないこと（‘何が何でもついていく!!’という強い気持ちをもつこと）
- ③ 通関実務の暗記もの（1～97類の代表品目など）は4月から取り組むこと（中盤から開始では時間不足になる。）
- ④ 解答への技法を習得して、反復練習すること（技法はこの「かわらばん」でもできるだけ紹介します。）
- ⑤ 最後まで諦めないこと



通関士マスコットキャラ
「ゼーニャ」

(2) 学習計画

能力にマッチした合格計画を

合格のためにはご自分の知識にマッチした最も効率的な計画を組むことが大切です。

はじめて挑戦される方と、過去に勉強経験があり、第3科目のみに不安がある方とは状況が異なるはずですが、ご自分の能力や環境を考慮して計画を立てましょう。

当協会では、目安として、初めて学習される方が合格するための学習計画の大枠を次号以降で紹介していきます。

これを参考にご自分の能力、環境にあった計画を立ててください。

学習時間として、合格者は300時間以上を充当しています。この「かわらばん」等を通して、記憶法、学習集中法、時間節約法などについても紹介していく予定です。効率の良い学習を進めていってください。

合格のためにはご推察の通り、毎日が勉強です。選抜テストではありませんが、10人に1～2人合格というのはかなり努力をし続けないと目標を達成できません。最初はみんな合格したいと思って勉強を始めるのですが、志半ばという方がほとんどです。本気で「今年絶対合格」と決意の堅い方には、まず、4月から相当量の学習が求められます。かなりの覚悟をしてください。当協会も精一杯支援します。（具体的な学習計画は次号以降）